

第15回日本バレーボール学会総会報告

日時：2010年3月27日(土)17:00～17:30

場所：文京学院大学女子中学校・高等学校

2009年度事業報告

1. 第15回大会の開催

2010年3月27日(土)・28日(日) 発表15件,

参加者 172名

- ・〈特別記念講演〉

「将来を見据えた組織運営のあり方と人材育成」

演者：民秋史也(株式会社モルテン代表取締役社長)

- ・〈シンポジウム〉

「小学校・中学校・高等学校におけるバレーボールの現状と課題点」

演者：関口 満(東京都中体連専門部長, 豊島区立池袋中学校)・並木清三(東京都高体連女子バレーボール専門部, 雙葉学園高等学校)・清水直樹(文京学院大学女子中学校・高等学校)

- ・〈ワークショップ〉

「ジャンパー膝とその予防方法」

演者：福井 勉(文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科長)

- ・〈フォーラム A〉

「小学校・中学校・高等学校バレーボール選手における障害の実際とその予防」

コーディネーター：橋本吉登(寒川病院整形外科部長)

話題提供者：板倉尚子(日本女子体育大学)

- ・〈フォーラム B〉

「持続可能なクラブチームの運営と課題」

- ・〈オンコートレクチャー〉

「小学校および中学校における系統的指導」

講師：吉田岳史(文京学院大学女子中学校) 恩田亜由美(文京学院大学女子中学校) 山根貞子(文京学院大学女子中学校・高等学校)

- ・総会

2. バレーボールミーティングの開催

第1回：2009年7月11日(土), 東京学芸大学

参加者 103名

テーマ「活力ある組織の在り方とその運営」

シンポジウム第1部「成果を上げる組織の条件」

第2部「スポーツ組織の運営について」

平尾誠二(神戸製鋼ラグビー部ゼネラルマネージャー兼総監督)・瀧井敏郎(東京学芸大学 教授 日本サッカー協会理事 Jリーグ技術委員)・栗山英樹(スポーツキャスター・白鷗大学教授)・菅野幸一郎(東レアローズ女子バレーボールチーム監督)

3. 機関誌「バレーボール研究」の発刊および発刊準備

2009年6月1日に11巻1号を発刊 原著論文 1件, 研究資料 4件

2010年5月 12巻1号の発刊にむけて現在準備中

4. 学会会報(ニュースレター)の発行

1回発行, NO16:2009年10月1日

5. バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

日本バレーボール学会ホームページ上で公開

今年度0件追加 総数 1,500件

6. 調査研究補助

「バレーボールのラリーポイントシステムにおける得点に関する研究—高校チームのゲームを中心に—」(研究代表者：高根信吾)

7. 諸会議の開催

理事会

第1回：2009年 3月 1日 夙川学院短期大学

第2回：2009年 7月11日 東京学芸大学

第3回：2009年 9月 6日 東京工科大学 蒲田校舎

第4回：2009年12月 6日 学習院大学北1号館1F
スポーツ健康科学センター会議室

第5回：2010年 2月21日 学習院大学北1号館1F
スポーツ健康科学センター会議室

第6回：2010年 3月27日 文京学院大学女子中学校・高等学校

第15回総会：2009年3月27日 文京学院大学女子中学校・高等学校

8. その他諸事業の実施

① 学会ホームページの運用と整備 (<http://www.jsvr.org/>)

② 役員用メーリングリストの運用

③ 会員研究用メーリングリストの運用

④ 用語検討WGおよび用語集出版編集委員会の活動

⑤ キッズ・バレーボール研究WGの活動

⑥ 関連学会との連携事業

⑦ 日本学術会議との連携

⑧ 国際会議の開催準備

2009年度 決算中間報告

1. 収入の部

(円)

項目	金額		適用
	予算額	決算額	
会費	1,500,000	1,608,470	@ 5,000 × 325 名分 (過年度分を含む), 購買会員 @ 3,000 × 1 名分 (UC 手数料 19530)
大会余剰金	0	0	
広告費	200,000	100,000	
繰越金	4,909,885	4,909,885	2007年度より繰り越し
雑収入	1,000	1,210	預金利息・機関誌頒布
その他	0	9,800	編集委員会返還金, 機関誌オーバーページ
合計	6,610,885	6,629,365	

2. 支出の部

(円)

項目	金額		適用
	予算額	決算額	
会議費	300,000	79,521	
事務費	1,000,000	638,758	会費銀行振替関連経費, 振込手数料, 事務用品, web 運営費等
通信費	200,000	72,570	
大会補助費	450,000	450,000	第1回バレーボール ミーティング: 150,000 第15回大会: 300,000
印刷費	150,000	160,125	ニュースレター・封筒
機関誌発行費	550,000	364,140	「バレーボール研究11 巻1号」発行
委員会経費	350,000	250,000	編集委員会・企画委員会 仮払い
調査研究費	400,000	300,000	調査研究補助・用語出版委員
予備費	100,000	0	会計費
次年度繰越金	3,110,885	4,314,251	
合計	6,610,885	6,629,365	

以上ご報告申し上げます。

2010年3月28日

日本バレーボール学会

総務委員会

委員長 田中博史 印略

証拠書類などを審査の結果、以上の報告に相違いないこと
をご報告いたします。

2010年3月28日

日本バレーボール学会

監事 森田昭子 印略

島津大宣 印略

2010年度 事業計画

- 第16回大会の開催 2011年2月26日(土), 27日(日)
場所: 日本女子体育大学
- 研究集会(バレーボールミーティング)の開催
2010年7月18日(日) 場所: 北翔大学
- 機関誌(バレーボール研究: Journal of Volleyball
Sciences: JVS)
第12巻の発刊と第13巻の発刊準備
- 学会会報(ニュースレター)17号の発行
- バレーボールに関する研究事業
 - バレーボール用語集(バレーペディア(仮称))
の編集・発刊
 - キッズ・バレーボール研究事業
 - バレーボール関係研究文献データベースの整備
と運用
- 会員情報の管理と名簿の整備(会員名簿は隔年で機関
誌に掲載)
- 調査研究補助
- JSVRサーバー(レンタル)の運用とWeb管理・更新
- 国際会議の開催準備
- 諸会議の開催
- その他諸事業の実施

2010年度 収支予算(案)

1. 収入の部

(円)

項目	金額	適用
会費	1,500,000	@ 5,000 × 300 名分(概数)
広告費	200,000	
大会余剰金	0	
繰越金	4,314,251	2009年度より繰り越し
雑収入	1,000	預金利息・機関誌頒布
合計	6,015,251	

2. 支出の部

(円)

項目	金額	適用
会議費	500,000	
事務費	600,000	会費銀行振替関連経費, 振込手数料, 事務用品, web 運営費等
通信費	200,000	
大会補助費	450,000	第1回バレーボール ミーティング: 150,000 第15回大会: 300,000
印刷費	200,000	ニュースレター・封筒
機関誌発行費	550,000	「バレーボール研究11巻1号」発行
委員会経費	350,000	編集委員会・企画委員会 仮払い
調査研究費	400,000	調査研究補助
予備費	1,000,000	
次年度繰越金	1,765,251	
合計	6,015,251	